

第1回いじめ問題対策連絡協議会で得られた主な意見

これからの検討内容

協議テーマ②「子どもたちに抜かりのない支援を届けるために」

サテライトセンターの検討

- ・心の教育センターのサテライトをつくることは良い案だと思うが、場所、人、予算の課題をクリアする必要がある。
- ・心の教育センターのサテライト化か、教育支援センターの強化か、どちらが効果的だろうか。
- ・教育支援センターはスタッフが十分でないため、ぜひ心の教育センターと緊密な連絡を取り、支援してもらえると助かる。
- ・各市町村でのサポートが整えば、学校の機能も充実する。

校内支援体制  
校種間連携

- ・たくさんの地域から進学してくる高知市内の高校は、中学校との校種間のつながりにくさを感じることもある。
- ・チームアセスメントのための「児童生徒理解・教育支援シート」等を活用し、小中高の切れ目ない支援をする必要がある。
- ・不登校には至っていない(準不登校)子どもの情報が十分引き継がれない。
- ・学校は外部専門家を活用し校内の支援体制を充実させることが大切。

中学卒業後のサポート

- ・卒業後おおむね1年はフォローするという期間については妥当と思われる。
- ・中学校の先生が持っている情報を頼ることは期待ができる。
- ・離職した子どもの保護者の困り感は大い。保護者への相談機関の周知の必要性がある。

【資料3-2】  
子どもたちを取り巻く様々な問題に対し抜かりなく支援を行うために

【資料3-3】  
これまで支援の手が届いていなかった子どもたちを支援する仕組みづくり